

2013 年 11 月 27 日

事故回避、乗員保護、速やかな救急連絡： BMW i3 の統合安全コンセプト

- **BMW グループ初の量産電気自動車、BMW i3 がユーロ NCAP 衝突試験の乗員保護・子供保護で最高評価を獲得**

ミュンヘン発:

BMW グループ初の量産電気自動車 BMW i3 が、発売と時を同じくしてユーロ NCAP 衝突試験の乗員保護・子供保護において最高評価の 5 つ星を獲得した。かねてからの予想どおり、同セグメントで最高水準にある通常型エンジン車と同等のパッシブ・セーフティ性能が確認された。BMW 統合安全コンセプトでは、衝突回避やインテリジェント・エマージェンシー・コールなど、あらゆる項目を網羅するとともに、ユーロ NCAP よりさらに厳しい基準を設定している。

BMW i3 は革命的な車両コンセプトにより、乗る人が笑顔になるドライビング・プレジャーや優れた環境性能に加え、安全面においても最高水準を達成した。同モデル向けに開発された安全コンセプトは、衝突回避に焦点を合わせたドライバー支援システムから、パッシブ・セーフティ装備、インテリジェント・エマージェンシー・コール機能にいたるまであらゆる項目を網羅するほか、衝突保護に関する世界のすべての基準に適合している。

BMW 統合安全コンセプトの目的は、実際の道路や事故の状況に即して、アクティブ・セーフティおよびパッシブ・セーフティ装備の最適な組み合わせを提供すること。同コンセプトのアクティブ・セーフティ機能の中には、ドライバーによる事故回避を支援する予防的システムも規定されており、実際、BMW i3 に採用された「ドライビング・アシスト・プラス」にも、ブレーキ機能付の衝突警告および歩行者警告が含まれている。このセグメントで唯一のこのシステムは、主に市街地での安全確保を想定したもので、衝突防止や、事故程度を大きく軽減するのに役立つほか、衝突が不可避となった場合には、精密に設定した負荷伝達経路や、大型クラッシュャブル・ゾーン、優れた強度により生存空間となるパッセンジャー・セル、それに、機能面で精密に相互連携する電子制御レストレイント・システムがあいまって、最大限の乗員保護を実現する。また、やはりこのセグメントで唯一となるインテリジェント・エマージェンシー・コールも採用。車両位置自動検出機能、事故程度検出機能を備え、BMW i3 では標準装備となっている。このシステムは、自動でコール・センターに電話をかけることで救急への連絡時間を短縮する装備。これにより BMW グループは 2010 年、欧州の衝突試験機関、ユーロ NCAP より、特別賞のユーロ NCAP アドバンスト賞を受賞した。特別賞となったのは、現在のユーロ NCAP 標準テストでは、この高度緊急連絡機能の評価が含まれないため。なお、EU 全域の全新規登録車にこのシステムの搭載を義務付ける法規制は 2015 年に発効する。

BMW i3 に搭載されるすべてのパッシブ・セーフティ・システムは、同モデルの開発期間中、BMW グループの事故調査部門が独立系専門家らと協力して多数のクラッシュテストを実施

し、その有効性について解析を行った。この作業では、世界中の新車登録や消費者安全テストで定められている、ユーロ NCAP より厳しいすべての事故形態（追突被害や横転事故など）についても検討した。

BMW i3 は、カーボン・ファイバー強化樹脂(CFRP)製の超高剛性パッセンジャー・セルとレストレイント・システムの正確な相互作用により、ユーロ NCAP 衝突試験の成人乗員保護および子供乗員保護において優れた成績を収めた。前面衝突と側面衝突、さらにはポール側面衝突においても負傷の危険性がきわめて低いことが確認された。とりわけ注目されたのが、CFRP 製パッセンジャー・セルの変形のしにくさで、これがレストレイント・システムの効果を高める上でも寄与している。

BMW グループについて

BMW グループは、BMW、MINI、ロールス・ロイスというプレミアム・ブランドを擁する、自動車およびモーターサイクルのトップ・メーカーの一つであり、世界 13 カ国に 28 の製造工場を有し、140 カ国以上に販売網を構築しているグローバルな企業である。

2012 年における自動車総販売台数は 185 万台、モーターサイクルは 11 万 7 千台となっている。2012 年の売上高は 768.5 億ユーロ、税引前利益は 78.2 億ユーロを計上した。また、2012 年末時点における従業員数は 105,876 名である。

BMW グループは常に長期的な視野と責任ある行動を企業の指針とすることで成功をおさめており、その結果、すべてのバリュー・チェーンにおける環境的および社会的持続性、責任のある製品作り、さらには資源保護に対する明確なコミットメントを企業戦略の不可分な要素として確立している。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター:フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。

受付時間: 9:00-20:00 年中無休

BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室:03-6259-8026(製品広報)